

(添付資料)

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、企業市民として社会の発展に貢献することを経営理念としており、社憲のなかに企業の公益性をうたっております。

- | | | |
|--------|---------------------------------------|-------------|
| <社憲> | 「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」 | |
| <経営理念> | ・顧客満足の最大化 | ・たえざるチャレンジ |
| | ・株主からの信頼重視 | ・個人の尊重 |
| | ・良き企業市民の実践 | ・倫理性の高い企業活動 |

このような経営理念のもと、株主、投資家、顧客、取引先、地域社会、社員などさまざまなステークホルダーの皆様にご理解、ご支援いただけるよう努力しております。そのためには、収益を伴った持続的な成長を続けるとともに、経営情報の開示など透明性を高める経営を行うことが皆様の期待に応えられるものと考えております。

(2) 利益配分に関する基本方針

利益配分については、財務体質の強化を続けながら適正に還元していくことが、株主の皆様の信頼を得るうえで重要と考えております。そのため、1株当たりの配当額のみならず、株主資本に対する配当率を考慮する配当政策を基本にして、株主資本に対する利益率向上に努めております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

平成12年度より、「選択と集中の継続実行による企業価値の向上」を主題とした第8次中期経営計画(2カ年計画)を展開しており、平成13年度もこの方針を継続してまいります。この中期計画は、企業価値の向上を目指すとともに、“利益”を過去最高水準へ復帰させることに最注力することをその内容としております。事業環境の好転を受け、各カンパニーによる収益最大化の取り組みを続けるとともに、将来の成長のための新規・拡大分野への投資を全社的視点から行ないつつ、過去最高利益の更新と、さらに高い業績達成を目指しております。

また、21世紀を迎えるにあたり、“グランドデザイン2010プロジェクト”を設置し、2010年までの10年間を見据えた長期ビジョンの立案を進めております。10年後のオムロングループのありたい姿や中期的な経営目標、およびその実現に向けた個々のカンパニーのビジョン・戦略などを立案し、平成13年5月頃に社内外に発表する予定にしております。

(4) 経営管理組織の整備に関する施策

平成11年度に経営改革の一環として、「カンパニー制」、「執行役員制」を導入しました。これは、多様化している市場・顧客に対応するため、事業執行者の役割・責任を明確にし、自律的かつスピードを持った事業経営を推進することを目的としています。

さらに、平成12年度には、グループ本社機能を充実させ、グローバル市場経済のなかで揺ぎないオムロングループの実現にむけた経営戦略の立案、推進の強化を図ってまいります。

(5) 会社の対処すべき課題

平成12年度は事業環境の好転とともに、内部の構造改革努力により業績は当初の予想より大幅に上回る見込みとなりました。しかしながら先行きについては不確実な要素も多分に含んでおり、楽観視できるものではありません。引き続き、IT化など産業構造変化への対応、グローバルベースでの事業展開、アライアンスなどによる事業強化、さらに国内外での生産性の向上などに取り組み、構造改革を加速していきます。

(6) 目標とする経営指標

当社ならびにグループ各社は、株主資本利益率(ROE)の向上を掲げ、今後とも、グローバル先進企業の水準を目指し、業績向上に努めてまいります。